

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間
平成30年7月～令和元年6月



第6版

作成 令和元年9月30日



有限 熊池建設
会社

事業の概要

(1) 事業者名

有限会社 熊池建設
代表取締役 田尻照幸

(2) 所在地

本社 : 〒861-5526 熊本市北区下碓川1丁目7-12
資材置場 : 〒861-5531 熊本市北区北迫町字図形584-1
土捨て場 : 〒861-0142 熊本市北区植木町大字鏡田字桜井727-1

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 : 田尻佳奈子
連絡担当者 : 柿塚理沙
連絡先 TEL:096-322-2093 FAX:096-322-2127

(4) 事業規模

資本金 2000万円
社員数 13人
売上高 1億4200万円

(5) 事業内容

特定建設業 : (土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、ほ装工事業)、
一般建設業 : (造園工事業)
許可番号 : 熊本県知事許可(特-29)第12510号
熊本県知事許可(般-29)第12510号

(6) 運用年度

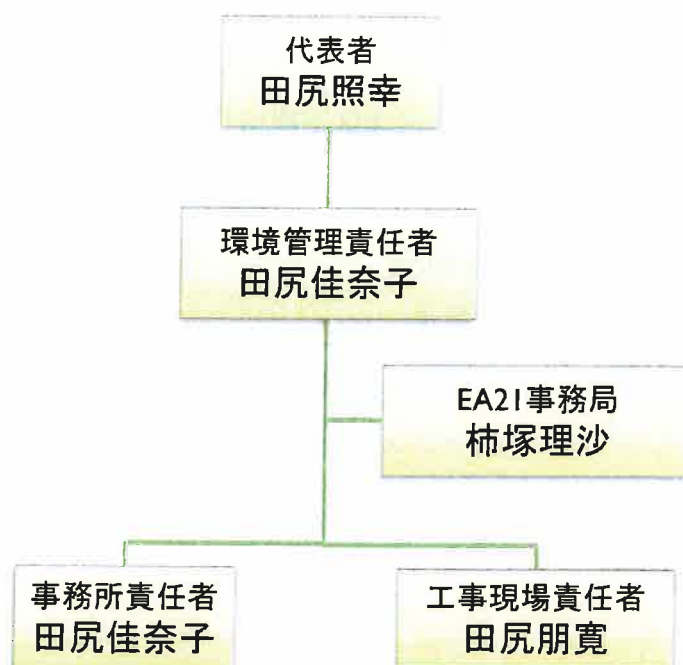
期首:7月 期末:6月

(7) 認証登録範囲

有限会社 熊池建設の全組織、全活動を認証登録範囲とする。



EA21 推進体制



代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括(緊急事態の想定、訓練含む)
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の実施 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案

環境方針

環境理念

有限会社 熊池建設 は、建設業に携わる事業者として、人と自然を大切にし、よりよい地球環境の創造及び地域社会に貢献することを目指すため、環境方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

重点推進事項

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・電気 ガソリン 軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

- (2) 廃棄物の削減
 - ・建設工事に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努めます。
 - ・建設リサイクル法に従い適切なりサイクルに努めます。

- (3) 節水活動の推進
 - ・車輛の洗車時や水道使用時の節水に努めます。

- (4) 環境に配慮した施工
 - ・技術的、経済的に可能な環境配慮型施工に努めます。

- (5) グリーン購入
 - ・循環型社会に貢献するためにグリーン購入を推進します。

- (6) 地域貢献
 - 地域の清掃を通じて、地域社会に貢献していきます。

- (7) 環境関連法規制の遵守
 - ・事業に関する環境関連法規制等を遵守します。

制定：平成27年3月30日

改定：平成31年1月31日



有限会社 熊池建設

代表取締役 田尻照幸

環 境 目 標

会計年度 期首：7月 期末：6月

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
番号	項目	実績 (H29年7月～H30年6月)	環境目標	環境目標	環境目標	環境目標
1	二酸化炭素 排出量の削減 (Kg-CO2)	64,174	63,532	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-1	電気使用量 の削減 (kWh)	7,309	7,236	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-2	ガソリン使用量 の削減 (L)	5,552	5,496	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-3	軽油使用量 の削減 (L)	18,196	18,014	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
2	廃棄物の リサイクル	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進
		廃棄物の再資源化 100%	廃棄物の再資源化 100%維持	廃棄物の再資源化 100%維持	廃棄物の再資源化 100%維持	廃棄物の再資源化 100%維持
3	水使用量 の削減	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進
4	グリーン購入	グリーン商品購入 率 53%	グリーン商品購入 率 54%	前年度実績 の1%増加	前年度実績 の1%増加	前年度実績 の1%増加
5	地域貢献	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年

☆電気のCO2排出係数はH28年度九州電力調整後排出係数0.48
 ☆化学物質の使用はなし

環境活動計画

項 目	具 体 的 な 活 動	頻 度	実 施 状 況	
			事 務 所	現 場
1. 二酸化炭素排出量の削減 1-1. 電気使用量の削減	①空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	○	—
	②空調機フィルターの定期的清掃（6月・12月）	年2回	○	—
	③日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	毎日	○	○
	④省エネ型空調機、照明器具に買い換える	適時	○	—
	⑤グリーンカーテンの設置	適時	○	—
1-2. ガソリン使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、タイヤ空気圧チェック、急発進・急ブレーキをしない）	毎日	○	○
	②低燃費車を増やす	適時	—	—
1-3. 軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、タイヤ空気圧チェック、急発進・急ブレーキをしない）	毎日	○	○
	②社用車の定期的な整備による燃費向上	適時	○	○
	③社用車の車両別燃費の把握	毎月	△	—
2. 廃棄物のリサイクル化	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○
	②リサイクル促進	毎月	○	○
	③適切な業者の選定と引渡	適時	○	○
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○
	⑤社内文書は裏紙を使用する。	毎日	○	—
3. 節水活動の推進	①洗車の水使用削減（無駄な水を使用しない）	適時	○	○
	②節水の工夫と実施 （適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	○	○
	③前日の残り湯は、観葉植物へまく	毎日	○	—
4. グリーン購入	①グリーン商品購入率 1%増加	適時	○	—
5. 地域貢献	①地域清掃の実施	年2回	○	—

評価基準

○：出来た
△：改善の余地あり
×：出来なかった



環境目標の実績、評価と今後の取組内容

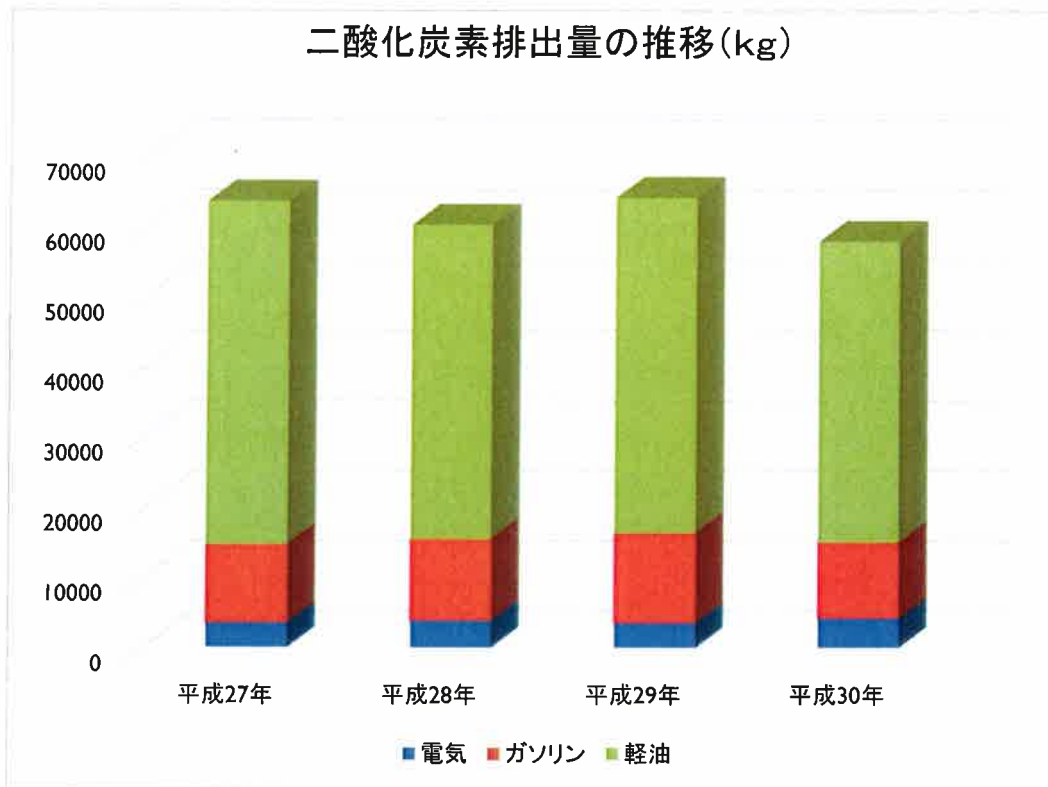
取組期間：H30年7月～R1年6月

項目	H29年度実績 (H29年7月～H30年6月)	H30年度目標 (H30年7月～R1年6月)	H30年度実績 (H30年7月～R1年6月)	達成度	判定	評価及び今後の取組内容
1. CO2排出量 (Kg-CO2)	64,174	63,532	57,918	110%	○	前年度よりも達成項目が増えた。 従業員用の休憩室を設けエアコン台数が増えたとともに連日の猛暑で使用頻度が上がったため電気使用量は目標達成できなかったと思われる。室内に温度計を設置し室内温度の管理をし使用量を管理していく。 前年度に比べてガソリンと軽油の使用量は抑えられたので来年度も引き続きエコドライブを心がける。
1-1. 電気使用量 (kWh)	7,309	7,236	8,623	84%	×	
1-2. ガソリン使用量 (L)	5,552	5,496	4,700	117%	○	
1-3. 軽油使用量 (L)	18,196	18,014	16,608	108%	○	
2. 廃棄物のリサイクル	分別活動推進	分別活動推進	分別活動推進	100%	○	分別活動推進できた。 (写真参照) 社内文書は裏紙使用を徹底。引き続き、次年度も意識づけるため継続していく。
	建設リサイクル 廃棄物のリサイクル化100%	建設リサイクル 廃棄物のリサイクル化100%	建設リサイクル 廃棄物のリサイクル化100%	100%	○	
3. 水使用量	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	100%	○	節水活動を推進できた。 次年度も継続していく。
4. グリーン購入	グリーン商品購入 53%	グリーン商品購入 54%	グリーン商品購入 56%	103%	○	引き続きグリーン商品を1つでも多く購入するようにする。 来年度は1%増加を目標とする。
5. 地域貢献	地域清掃 ①ボランティア2回/年 ②現場周辺の清掃(現場ごとに実施) ③事務所周辺の清掃(年に1回)	地域清掃 ①ボランティア2回/年 ②現場周辺の清掃(現場ごとに実施) ③事務所周辺の清掃(年に1回)	①②③実施	100%	○	実施できた。 次年度も継続していく。

☆電気のCO2排出係数はH28年度九州電力調整後排出係数0.483を使用



環境負荷の推移



具体的な取組状況

C02排出量削減

省エネモード搭載エアコンの導入



グリーンカーテンの設置



水使用量削減



分別活動の推進

埋立ごみ、ビン・缶、ペットボトル、燃えるごみ、プラスチックごみ



社内文書の裏紙使用



地域貢献

くまもとマイリバーサポート協定によるボランティア活動



地域の清掃活動への参加・事務所周辺の清掃



グリーン商品購入一覧表

商品名	数量	グリーン購入 法適合商品	グリーン商品 購入数
インクカートリッジ ICBK50 ブラック	15	○	15
インクカートリッジ ICY50 イエロー	5	○	5
インクカートリッジ ICC50 シアン	4	○	4
インクカートリッジ ICLC50 ライトシア	3	○	3
インクカートリッジ ICM50 マゼンダ	5	○	5
インクカートリッジ ICLM50 ライトマゼ	2	○	2
ネームランドテープ24ミリ透明黒文字 1セット	2	—	
テープのり 本体	1	○	1
テープのり 交換テープ	3	—	
修正テープ5mm アソートパック	1	○	1
フラットファイルエコノミー A4タテ(10冊)	3	○	3
フラットファイルエコノミー A4タテ(30冊)	1	○	1
コピー用紙 A3 1冊(500枚入)	2	—	
コピー用紙 A4 1箱(500枚入×10冊)	5	—	
トンボ鉛筆 HB 1ダース	3	—	
SHOTDOCS名刺ホルダー台紙 A4(10冊)	3	—	
SHOTDOCS名刺ホルダー(A4差し替え式)	1	—	
PP荷造りひも 400m 白 1巻	4	—	
ホワイトボードイレーザー (M)	1	—	
フローリングワイパーシート 1セット(18枚)	3	—	
L字脚スチールホワイトボード 一台	1	○	1
タイムレコーダ Z150	1	—	
複写領収書バックカーボン A6ヨコ型	4	—	
	73		41

グリーン商品購入率・・・56

環境法規の遵守評価

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。なお、関連機関からの指導や訴訟もありません。

環境法規制登録表

作成日：平成27年 9月 15日
見直し日：平成30年 7月 30日

法規制等 廃棄物処理法	適用内容	対象設備、施設 産業廃棄物置場	届出	条項	遵守事項 (法規制/自主規制)	頻度等	記録	遵守評価	コメント
	産業廃棄物の保管		-	規8	(法規制) 1. 表示板の設置 (自主規制)	常時	-	○	
	委託契約書	委託業者	-	-	1. 清掃、漏洩防止 (法規制)	1回/週 (確認)	-	○	
	マニフェスト管理	委託業者	-	令6の2	1. 委託契約書 (書面) (法規制)	契約時	委託契約書	○	
	産業廃棄物の運搬	運搬作業	-	法12の3 法12の3	1. マニフェストの発行、管理 2. 各票の受領確認 (法規制)	処理委託時 発行後	マニフェスト マニフェスト	○ ○	
	産業廃棄物管理票交付等 状況報告	産業廃棄物	○	令6 規7の2	1. 産業廃棄物運搬の表示 2. 許可証写し及びマニフェストの携帯 (法規制)	運搬時 運搬時		○ ○	
家電リサイクル法 PCリサイクル法	テレビ、エアコンの廃棄 PC、周辺機器の廃棄	テレビ、エアコン パソコン等	-	規8の27	1. マニフェストの集計 (4月～翌年3月の1年分) 2. 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出 (法規制)	6月末	産業廃棄物管理票交付等 状況報告書	○ ○	
自動車リサイクル法	社有車の適切な廃棄	社有車	-	法6 法11	1. 廃棄時の適正処置 (発生時のみ) 2. リサイクル料支払い (発生時のみ) (法規制)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	該当なし 該当なし	
建設リサイクル法	建設 (土木) 工事に係る資材 の再資源化の促進	特定建設資材 1. コンクリート 2. コンクリ- ト・鉄からなる建設 資材	○ ○	法73 法8	1. リサイクル料支払い (発生時のみ) 2. 廃棄時の適正処置 (発生時のみ) (法規制)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	該当なし 該当なし	
騒音規正法	土木工事における騒音規制	特定建設作業	○	法9 法10 法18	1. 土木工事に係る分別、再資源化の実施 2. 対象工事の7日前までの市町村長への届出 3. 再資源化完了の書面報告 (法規制)	対象工事実施時	施工計画書	○ ○ ○	
振動規正法	土木工事における振動規制	特定建設作業	○	法14	1. 対象工事の7日前までの市町村長への届出 (法規制)	対象工事実施時	施工計画書	○	
浄化槽法	浄化槽の保守点検、清掃及び 定期検査	浄化槽	-	法10 法11	1. 浄化槽の保守点検及び清掃 2. 定期検査 (法規制)	1回/年 1回/年	保守点検・清掃報告書 定期検査報告書	○ ○	
熊本県地球温暖化の 防止に関する条例	事業活動全般 通勤		○ ○	例17～19 例29～31	事業活動温暖化対策計画書及び報告書の提出 エコ通勤環境配慮計画書及び報告書の提出 (法規制)	1回/年 1回/年	計画書及び報告書 計画書及び報告書	○ ○	計画書提出済

代表者による全体の評価と見直し記録

1. 全体の評価 報告: 田尻佳奈子

No.	評価事項	評価結果(指摘事項)	改善内容	責任者
1	環境関連法規等の順守状況	遵守できている。 特に問題はなし		
2	環境目標の達成度 活動の進捗状況等の確認	①CO2排出量達成(110%) ②電気使用量未達成(84%) ③ガソリン使用料達成(117%)。 ④軽油使用量達成(108%)	①引き続き節電を心がける。 ②引き続きエコドライブを心がける。	環境管理責任者
3	環境に関する苦情や要望対応状況	苦情・要望などは発生していない。		
4	前回の代表者の指示事項への対応	①環境目標 ②環境活動	①平成29年度を基準として、新たな環境目標を作成 ②環境への取組自己チェック」から環境活動計画に組み入れる	
5	その他指示事項	特になし		

2. 全体の評価と見直し 実施日: 令和元年8.30 代表取締役 田尻照幸

全体の評価

<p>エコアクションへの取組も4年目となった。エコドライブ・現場への相乗り等の意識が高まってきたように思われる。夏場は猛暑であったため電気使用量が未達成となってしまったがほかの項目はすべて目標を達成しており社員一丸となってエコアクションに取り組んでいることが伺える。気温や現場の関係上削減が難しい項目もあるが今回の達成率を今後も継続して続けていけるように会社全体でより一層環境への配慮を忘れずに行動していけるようにしたい。</p>

見直し事項

No.	環境マネジメントシステムの見直し事項	変更の必要性	指示内容	責任者
1	環境方針	なし		
2	環境目標	あり	平成30年度実績を基準として、新たな環境目標を作成する。	環境管理責任者
3	環境活動計画	あり	「温度計による室温の管理」を環境活動計画に組み入れる。	環境管理責任者
4	その他	あり	実施体制の変更。	環境管理責任者